

「復興農学会」幹事会（第19回）議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2025年6月10日（火）18時00分～18時40分

方法 ZoomによるWeb会議

出席者 石井 秀樹（福島大学）、佐伯 爽（東海大学）、杉野 弘明（山口大学）、新田 洋司（福島大学）、
登尾 浩助（明治大学）、溝口 勝（東京大学）、Djedidi Salem（福島大学）
（敬称略）

議事録

1. 学会誌「復興農学会誌」の編集・発行状況について（内田・杉野・安達・Salem）

杉野 幹事より、現在、原著論文4編が審査中であり次号に掲載される見込みであること、さらに原著論文1編の投稿が予定されていること等の報告があった。また、巻頭言（溝口 会長）、去る3月の研究会の講演要旨が掲載される予定であり、量的に厚く充実した内容になることもあわせて報告された。

2. 2025年度研究会・総会の開催について（新田）

継続審議となっていた2025年度の研究会・総会の開催について審議した。その結果、下記のように開催することとなった。

・2025年度研究会・総会

日時 2026年3月14日（土）

会場 福島大学

形式 対面・リモート（Zoom）併用

また、前回の幹事会で提案があった企画「被災地視察ツアー」について審議した。その結果、▼対象被災地域として熊本地域、能登地域が考えられる、▼熊本地域は普及・復興が進んでいるが、佐伯 幹事が在職する東海大学農学部には熊本地震（2016年）からの教育・研究等での復旧・復興の歴史と記録があり、熊本市内には「伝承館」のような記念施設もあることなどから、本学会として視察には適していると考えられること、▼能登地域は能登半島地震（2024年1月）後、農耕地や用水路、道路、家屋等の復旧・復興がまだ十分に進んでおらず、必ずしも視察は適当ではない、などの意見がだされた。

審議の結果、今年度は「被災地視察ツアー」として熊本地域を視察することとなった。ついては、佐伯 幹事が、同大学の阿部 淳 会員と開催時期、場所、内容等を相談して提案し、検討をすすめることとなった。

なお、能登地域についても、今後、「被災地視察ツアー」の候補として引き続き検討することとなった。

3. その他

（1）学会費のペイペイ払いについて

溝口 会長より、学会費をペイペイ（PayPay for Business）で支払うことについて、現在、調査中であるとの報告があった。

以上

今後の予定

	月例会 17 時 00 分から	幹事会 18 時 00 分から
2025 年 6 月 10 日 (火)	第 24 回	第 19 回
7 月 8 日 (火)	第 25 回	—
8 月 5 日 (火)	第 26 回	第 20 回
9 月 9 日 (火)	第 27 回	—
10 月 14 日 (火)	第 28 回	第 21 回
11 月 11 日 (火)	第 29 回	—
12 月 9 日 (火)	第 30 回	第 22 回
2026 年 1 月 13 日 (火)	第 31 回	—
2 月 10 日 (火)	第 31 回	第 23 回
3 月 10 日 (火)	第 32 回	—

(月例会：毎月第 2 火曜日 17 時 00 分から開催。幹事会：偶数月第 2 火曜日 18 時 00 分から開催)